【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-520173(P2001-520173A)
【公表日】平成13年10月30日(2001.10.30)
【出願番号】特願2000-516530(P2000-516530)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　59/12　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　25/04　　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　25/30　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/18　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　59/12
Ａ０１Ｎ　25/04
Ａ０１Ｎ　25/30
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｋ　33/14
Ａ６１Ｋ　33/18
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｐ　31/02

【手続補正書】
【提出日】平成17年6月21日(2005.6.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水性の抗菌組成物であって、
ヨウ素分子を含んだ有効ヨウ素を１２質量％以下の量で含み、
下記式で表される非イオン性界面活性剤を３０質量％以下の量で含み、
Ｒ（ＣＨＲ’－ＣＨＲ’－Ｏ）ｎ－Ｈ
（式中、Ｒは活性水素または水酸化物を含む有機化合物の残基を、Ｒ’は水素またはC_1～C_4のアルキル基を、ｎは３～２１２の整数を表す。）
塩化物イオン、臭化物イオンおよびこれらの混合物からなる群から選択されるハロゲン化物イオンをある量で含み、
前記ハロゲン化物イオンと、有効ヨウ素と、の割合が、０．２：１超、５．８：１以下であり、
前記有効ヨウ素、前記非イオン性界面活性剤および前記ハロゲン化物イオンが前記水性の組成物中に存在し、
前記組成物のｐＨが－１～７である抗菌組成物。

【請求項２】
希釈可能な濃縮物である請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項３】
使用形態の溶液である請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項４】
前記非イオン性界面活性剤が１～３０質量％の濃度で存在する請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項５】
前記濃度が５～２５質量％である請求項４に記載の抗菌組成物。
【請求項６】
前記ハロゲン化物イオンが０．１～３０質量％の濃度で存在する請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項７】
前記ハロゲン化物イオンが塩化物イオンであり、０．１～１２質量％の濃度で存在する請求項６に記載の抗菌組成物。
【請求項８】
前記ハロゲン化物イオンが臭化物イオンであり、０．５～２５質量％の濃度で存在する請求項６に記載の抗菌組成物。
【請求項９】
酸源（ａｃｉｄ　ｓｏｕｒｃｅ）含んだ請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項１０】
ある量のポリビニルピロリドンを含んだ請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項１１】
緩衝剤を含んだ請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項１２】
緩和剤を含んだ請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項１３】
前記ハロゲン化物イオンが、塩化ナトリウム、塩化水素酸、臭化ナトリウムおよび臭化水素酸からなる群から選択されるイオン源から得られる請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項１４】
ある量のヨウ化物イオンを含んだ請求項１に記載の抗菌組成物。
【請求項１５】
前記ヨウ化物イオンが０．０１～２０質量％の濃度で存在する請求項１４に記載の抗菌組成物。
【請求項１６】
前記非イオン性界面活性剤がポリエトキシル化されたポリオキシプロピレンブロック共重合体、C_4～C_{12}のアルキル基を有するアルキルフェノールエトキシレート、エトキシル化された脂肪族アルコールおよび脂肪酸およびこれらの混合物からなる群から選択される請求項１に記載の抗菌組成物。